

平成 30 年度 宇和島市学校・家庭・地域連携推進事業 『うわじま土曜塾』実施要領

宇和島市 教育委員会 生涯学習課

1. 事業の名称

この事業は、宇和島市の小中学生を対象とした学校・家庭・地域連携推進事業の一環として『うわじま土曜塾』（以下「土曜塾」という。）と称する。

2. 事業の目的

家庭での学習が困難であったり、学習習慣が十分に身につけていない等の理由により勉強の遅れがちな子どもに対し、学習の場を提供するとともに学習支援を実施することで、学習習慣の確立と基礎学力の定着を図り、将来に希望を持つ児童生徒の健全育成を目的とする。

3. 事業概要

(1) 実施日

原則、祝日を除く毎週土曜日を実施日とする。

午前 9 時から 12 時まで小学生、午後 1 時から 4 時まで中学生を対象に実施する。

(2) 実施場所

中央図書館、和霊公民館、吉田公民館、三間公民館、岩松公民館を予定

(3) 対象児童生徒

小学校 4・5・6 年生及び市立の中学校 1・2・3 年生のうち、勉強が遅れがちであると本人または保護者からの申請によって参加を希望する者。

(4) 定員及び登録

定員は概ね小学生 100 名、中学生 100 名として年度開始後に募集を行い、定員を大幅に超えた場合は書類選考のうえ登録者を決定する。

その後は、参加状況等を見ながら、可能な範囲で随時受け入れするものとする。

(5) 利用料 無料。

4. 実施内容

(1) 学習習慣の確立

自ら学習する習慣をつけるための意識付けや、家庭での学習や生活に関する相談及び指導を行う。

(2) 基礎学力の定着

基礎学力をつけることに重点を置いた、わかるための学習指導

学校授業の復習や、わからないことに対応することで、授業についていけるようになるための学習指導

(3) 体験学習等を通じた情操教育

地域の人材による教科以外の学習や体験活動、地域行事への参加やレクレーションなど通じて情操の涵養を図るとともに、勉強する意味を学ぶ。

5. 実施体制

宇和島市教育委員会の直営とし、生涯学習課が主管する。

実施については、下記のスタッフを公募により選定・登録し、コーディネーターを中心に指導方針を協議のうえ、連携してこれにあたるものとする。

◆ コーディネーター (1名)

うわじま土曜塾の運営を主体的に行い、5会場のサポートリーダーの統括として、全体の企画・立案・調整を行う。

- 塾全体の企画・立案・運営
- サポーターの採用、研修、指導
- 児童・生徒の募集、登録及び面談
- 児童・生徒の学習や生活に関する指導・相談
- 市との連絡、調整、報告

【従事時間】 週 20 時間程度 (土曜日含む)

【従事場所】 5会場及び市教育委員会生涯学習課

【報酬 (協力謝礼金)】 2,000 円/時間

◆ サポートリーダー (5名)

5会場それぞれの塾長として、会場ごとの塾運営を行う。

- 授業内容の企画・立案
- 体験学習等の企画・実施
- 児童・生徒の学習や生活に関する指導・相談

【従事時間】 土曜日：午前 4 時間、午後 4 時間程度

【従事場所】 各会場

【報酬 (協力謝礼金)】 2,000 円/時間

◆ サポーター (10~20名)

5会場それぞれの塾において、サポートリーダーの指示のもと児童・生徒の学習支援を行う。

- 児童・生徒の学習指導

【従事時間】 土曜日：小学生 (午前) 3 時間、中学生 (午後) 3 時間程度

【従事場所】 各会場

【報酬 (協力謝礼金)】 1,500 円/時間

6. 指導方針

- ◆ より多くの対象児童・生徒が、自らの意志によって、『いつでも、だれでも』参加できる土曜塾を目指す。
- ◆ 勉強する意味を学び、目標を持って、自ら学習する習慣と基礎学力をつけるための指導を行う。
- ◆ 指導方法 学年毎に 1 人以上のサポーターが指導にあたる。
- ◆ 指導教科 小学生；国語、算数、理科、社会
中学生；国語、数学、英語、理科、社会に対応できる指導体制を目指す。